

Ⅲ事業の実績報告

(令和5年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

(1) リハビリテーション相談支援事業

① リハビリテーション相談（訪問）

支援内容	回数	派遣スタッフ
<ul style="list-style-type: none"> ・運動発達、言語発達に関する評価及び助言 ・摂食嚥下及びその場面設定に関する助言 	8	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士

② ALS患者等難病患者に対するコミュニケーション相談（訪問）

支援内容	回数	派遣スタッフ
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション支援機器の説明 ・身体機能評価及び機種選定の見立て 	2	理学療法士、作業療法士

補装具判定関連の訪問：22件（判定：14件、仮合せ：8件、適合確認：0件）

③ 運転相談

種別	件数	人数	内容	
計	16	19		
内訳	来所相談	4	7	支援者、当事者
	電話相談	12	12	運転再開の流れ、自動車改造に係る業者や自動車教習所の情報等

④ 展示見学

種別	件数	人数	見学者内訳
計	13	154	当事者、支援者、事業者、実習学生等

⑤ 関連物品貸出状況〈貸出物品数 延べ122件〉

種別	コミュニケーション支援関係									その他	
	重度障害者用意思伝達装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力 スイッチ	遠隔制 御装置	Com その他	音声補 助装置	車いす 等	その 他の 福祉 用具
計	17	12	3	8	5	29	0	17	5	1	25

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所					仙台市	医療機関	訪問看護ステーション	障害者 関連施設	その他
	仙南	仙台	北部	東部	気仙沼					
件数	7	9	5	8	0	0	1	3	0	5
物品数	32	27	14	20	0	0	2	15	0	12

(2) 障害児者支援機能強化事業

① 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

開催日	関係機関	協力内容	会議・研修会等名称	対象
R5. 9. 6	東北大学病院難病医療連携センター	講師対応	令和5年度第1回医療従事者等支援難病研修会	医療従事者
R5. 9. 21	総合教育センター	講師対応	「岩沼市民生児童委員視察研修」	岩沼市民生児童委員
R5. 10. 9	県総合教育センター	講師対応	「重度・重複障害教育研修会」	公立学校教職員
R6. 1. 14	「宮城県大規模災害リハビリテーション支援団体協議会（以下、「JRAT-MIYAGI」という）」	研修会への協力	「災害時初動対応研修会」	医療従事者
R6. 1. 27	仙台エコー医療療育センター	講師対応	「重症心身障害児者に対する意思伝達装置の必要性について（制度）」	医療従事者、特別支援学校職員、障害児福祉サービス事業者

② 地域リハビリテーション情報収集

月日	項目	収集した情報
R5. 5. 24	仙台市宮城野障害者福祉センター 自立訓練（機能訓練・生活訓練）事業見学会	自立訓練事業の見学及び利用者の現状と課題について
R5. 6. 17 ～ 6. 18	全国地域リハビリテーション合同 研修大会 in ちば 2023	・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 令和5年第1回理事会への出席 ・全国の地域リハビリテーション支援体制と活動、課題、調査報告等について
R5. 8. 25 ～ 8. 26	日本職業リハビリテーション学会 第50回かながわ大会	障害者の就労と雇用に関する現状と課題、拡大に向けた支援や取組、研究・実践活動について
R5. 9. 2 ～ 9. 3	第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	摂食嚥下のスクリーニング、食物による窒息事故への取組、口腔ケアアセスメントの活用、摂食嚥下リハビリテーションの最新の治験等について
R5. 9. 9	令和5年度 ICT 支援者研修会	ICT を活用した障害者とのコミュニケーション向上のための支援について
R5. 9. 28 ～9. 29	国際福祉機器展（HCR）	最新の福祉機器の見学と体験
R5. 10. 15	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会第18回研修会	食形態判断のための食事場面観察、サルコペニアや低体重の摂食嚥下障害の対応、摂食嚥下リハビリテーションの研究・実践活動等について
R5. 10. 19	「福祉用具の日」「介護の日」記念イベント	一般住民に対する福祉用具の普及イベント。福祉用具の見学と活用方法等について
R5. 10. 26 ～10. 27	リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 広島 2023	・全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 令和5年第2回理事会への出席 ・障害者の社会参加に向けたケアマネジメント、災害時における福祉用具の活用等について
R5. 11. 24 ～11. 25	第11回日本難病医療ネットワーク学会学術集会 名古屋	難病の医療とケアの体制の向上、治療と仕事の両立支援、移行期医療等について
R5. 12. 17	ATAC カンファレンス 2023 （障害児者とのコミュニケーションスキル向上を図るもの）	重度重複障害に対する ICT を活用したコミュニケーション支援技術と、教育機関、福祉機関における学びの環境整備について

(3) 障害児者支援人材育成事業

① 介助技術研修

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R6. 3. 8 当所 会場集合型	テーマ 「高齢障害者の身体特性と車椅子適合支援」 講師 東北福祉大学総合マネジメント学部教授 関川伸哉氏	障害福祉サービス事業所、医療機関の職員で障害者支援に携わるリハビリテーション専門職、看護師、支援員等	36人

② 自立支援に向けた身体機能、活動アセスメント研修

開催日・会場	内 容	対象	参加者数
R6. 3. 14 個別オンライン型	テーマ 「意思決定支援のためのアセスメントと多職種連携」 講師 (一社) 宮城県社会福祉士会副会長 小湊純一氏	相談支援事業所、訪問看護事業所、生活介護事業所、障害者支援施設、医療機関、市町村、保健福祉事務所職員等	127人

(4) 障害児者支援普及啓発事業

① 事業周知

年月日	内 容	対象	周知件数
R5. 6. 22 R6. 3. 21	障害福祉課主催「障害福祉サービス事業者集団指導」における当該事業周知（資料提供）	障害福祉サービス事業者	571
R5. 4. 21	身体障害者支援班主催「市町村身体障害者福祉担当新任職員研修会」における当該事業説明	市町村身体障害者福祉担当職員	44

② コミュニケーション支援機器研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 9. 1 県東部保健福祉 事務所	テーマ 「コミュニケーション支援体制とコミュニケーション支援機器について」 講師 メイ・ソリューション (株) 代表取締役 木島真央氏 他	市町村、相談支援事業所、訪問看護事業所、医療機関等の職員で、コミュニケーション支援の経験がない、または少ない方	17人

③ 障害の理解啓発セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R6. 2. 27 個別オンライン型	テーマ 「障害のある方が健康であり続けるために」 講師 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 研究員・参事 根本昌彦氏	障害福祉サービス事業所、訪問看護事業所、特別支援学校、市町村等で障害者支援に携わる職員等	53人

④ 福祉用具セミナー

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 11. 8 子ども総合センター会議室、 当所 第一部集合型 と個別オンラインのハイブリッド形式、第二部 会場集合型	テーマ 「身体障害者の自動車の選び方、使い方」 講師 国立障害者リハビリテーションセンター 自動車訓練室 遠藤明宏氏 他	障害福祉サービス事業所、訪問看護事業所、地域包括支援センター、市町村、保健福祉事務所、医療機関等の職員	37人

⑤ 身体障害者の社会参加に関する研修

開催日・会場	内 容	対 象	参加者数
R5. 12. 15 個別オンライン型	テーマ 「障害者の就労支援に関する普及啓発」 講師 宮城障害者職業センター 主任障害者職業 カウンセラー 船津正悟氏	医療機関、訪問看護事業所、市町村、相談支援事業所、就労移行支援事業所、就労継続支援事業所、保健福祉事務所等の職員	58人

⑥ プログラム・ツール等の作成、更新

タイトル	内 容
コミュニケーション支援サポートブック（応用編）	内容を更新の上、ホームページに掲載
要介護高齢者や障害者の摂食嚥下障害への基本的な対応フローチャート Ver. 2.0	作成の上、ホームページに掲載
食物による窒息事故防止のためのチェックシート	作成の上、ホームページに掲載

(5) 調査・研究事業

調 査 内 容
リハビリテーション専門職養成校卒業生の就職状況等調査
病院・診療所、介護サービス事業所におけるリハビリテーション専門職従事状況調査
宮城県内のリハビリテーション関係診療報酬基準取得状況調査
リハビリテーションサービス資源情報調査

(6) 実務者会議等

会議、研修名	回数	参集者
実務者会議	2回	障害福祉課、各保健福祉事務所
担当職員研修	1回	各保健福祉事務所

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	205	271	313	219	248	224	253	228	213	279	230	264	2,947
再交付	117	121	131	120	98	113	152	126	110	119	113	136	1,456
計	322	392	444	339	346	337	405	354	323	398	343	400	4,403

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	872	41	21	3,602	9,480	14,016
2級	841	945	24	4,184	203	6,197
3級	177	431	284	3,484	2,518	6,894
4級	211	858	187	5,323	4,209	10,788
5級	364	21		3,491		3,876
6級	157	1,086		1,323		2,566
計	2,622	3,382	516	21,407	16,410	44,337
構成比	5.9%	7.6%	1.2%	48.3%	37.0%	100.0%

(令和6年3月31日現在、仙台市を除く。)

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
R1	2,969	3,717	572	24,288	16,652	48,198
R2	2,830	3,608	552	23,288	16,505	46,783
R3	2,717	3,497	529	22,621	16,383	45,747
R4	2,640	3,457	529	22,073	16,366	45,065
R5	2,622	3,382	516	21,407	16,410	44,337

(参考) 仙台市

R5	2,216	2,441	392	14,875	11,510	31,434
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にある方に計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	872	745	1,617	機能障害 心臓	1	6,092	4,332	10,424
	2	841	797	1,638		2	67	44	111
	3	177	105	282		3	1,281	899	2,180
	4	211	156	367		4	1,558	948	2,506
	5	364	342	706		計	8,998	6,223	15,221
	6	157	71	228	機能障害 じん臓	1	3,139	2,249	5,388
計	2,622	2,216	4,838	2		33	24	57	
聴覚障害	1	41	46	87		3	591	329	920
	2	944	696	1,640		4	19	6	25
	3	421	204	625		計	3,782	2,608	6,390
	4	856	647	1,503	機能障害 呼吸器	1	155	98	253
	5	9	4	13		2	22	20	42
	6	1,086	819	1,905		3	490	419	909
計	3,357	2,416	5,773	4		136	71	207	
計				計		803	608	1,411	
平衡機能障害	1	0	0	0	機能障害 ぼうこう・ 直腸	1	19	8	27
	2	1	1	2		2	17	8	25
	3	10	8	18		3	122	80	202
	4	2	0	2		4	2,457	1,707	4,164
	5	12	16	28		計	2,615	1,803	4,418
	計	25	25	50	機能障害 小腸	1	12	17	29
機能障害 音声言語 そしゃく	1	21	27	48		2	5	5	10
	2	24	28	52		3	9	5	14
	3	284	186	470		4	14	7	21
	4	187	151	338		計	40	34	74
	計	516	392	908	機能障害 免疫	1	8	14	22
肢体不自由	1	3,602	2,942	6,544		2	39	76	115
	2	4,184	2,928	7,112		3	10	36	46
	3	3,484	2,444	5,928		4	18	31	49
	4	5,323	3,542	8,865		計	75	157	232
	5	3,491	2,211	5,702		機能障害 肝臓	1	55	61
	6	1,323	808	2,131	2		20	11	31
計	21,407	14,875	36,282	3	15		1	16	
※重複障害は重い方に計上	4	7	4	11	計		97	77	174
	合計	44,337	31,434	75,771					

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談依頼の状況（市町村別）

（単位：件）

	来所相談				巡回相談	合計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	13	61	0	62	56	69	61	0	130
塩竈市	31	16	0	47	11	42	16	0	58
気仙沼市	5	25	0	30	26	31	25	0	56
白石市	20	3	0	23	13	33	3	0	36
名取市	40	20	0	60	4	44	20	0	64
角田市	6	5	0	11	6	12	5	0	17
多賀城市	22	13	0	35	5	27	13	0	40
岩沼市	29	12	0	41	3	32	12	0	44
登米市	3	13	0	16	37	40	13	0	53
栗原市	12	23	0	35	32	44	23	0	67
東松島市	4	16	0	20	10	14	16	0	30
大崎市	6	26	0	32	47	53	26	0	79
富谷市	11	8	0	19	9	20	8	0	28
蔵王町	4	5	0	9	3	7	5	0	12
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	12	7	0	19	0	12	7	0	19
村田町	9	2	0	11	4	13	2	0	15
柴田町	18	10	0	28	3	21	10	0	31
川崎町	6	5	0	11	2	8	5	0	13
丸森町	3	2	0	5	4	7	2	0	9
亘理町	23	4	0	27	1	24	4	0	28
山元町	5	2	0	7	0	5	2	0	7
松島町	6	5	0	11	1	7	5	0	12
七ヶ浜町	8	3	0	11	1	9	3	0	12
利府町	5	10	0	15	1	6	10	0	16
大和町	14	3	0	17	2	16	3	0	19
大郷町	5	2	0	7	2	7	2	0	9
大衡村	2	1	0	3	3	5	1	0	6
色麻町	0	1	0	1	2	2	1	0	3
加美町	1	8	0	9	12	13	8	0	21
涌谷町	4	7	0	11	6	10	7	0	17
美里町	3	5	0	8	17	20	5	0	25
女川町	0	3	0	3	2	2	3	0	5
南三陸町	1	4	0	5	3	4	4	0	8
県外	3	0	0	3	1	4	0	0	4
合計	334	330	0	664	329	663	330	0	993

※判定依頼書・相談依頼書受案件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談			合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計				
石巻市	18	5	23	61	0	84	74	13	87	110	61	0	171
塩竈市	26	35	61	16	0	77	8	12	20	81	16	0	97
気仙沼市	7	1	8	25	0	33	46	4	50	58	25	0	83
白石市	34	1	35	3	0	38	15	6	21	56	3	0	59
名取市	82	0	82	20	0	102	0	4	4	86	20	0	106
角田市	15	4	19	5	0	24	7	2	9	28	5	0	33
多賀城市	24	23	47	13	0	60	2	3	5	52	13	0	65
岩沼市	56	0	56	12	0	68	0	6	6	62	12	0	74
登米市	12	1	13	13	0	26	54	8	62	75	13	0	88
栗原市	17	2	19	23	0	42	47	2	49	68	23	0	91
東松島市	4	0	4	16	0	20	10	6	16	20	16	0	36
大崎市	23	2	25	26	0	51	75	12	87	112	26	0	138
富谷市	18	2	20	8	0	28	6	9	15	35	8	0	43
蔵王町	13	0	13	5	0	18	4	2	6	19	5	0	24
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	17	5	22	7	0	29	0	1	1	23	7	0	30
村田町	9	8	17	2	0	19	1	1	2	19	2	0	21
柴田町	29	10	39	10	0	49	1	2	3	42	10	0	52
川崎町	14	0	14	5	0	19	1	1	2	16	5	0	21
丸森町	11	0	11	2	0	13	3	3	6	17	2	0	19
亘理町	48	0	48	4	0	52	2	1	3	51	4	0	55
山元町	12	0	12	2	0	14	0	2	2	14	2	0	16
松島町	4	13	17	5	0	22	1	0	1	18	5	0	23
七ヶ浜町	9	7	16	3	0	19	1	1	2	18	3	0	21
利府町	8	3	11	10	0	21	1	1	2	13	10	0	23
大和町	21	6	27	3	0	30	1	2	3	30	3	0	33
大郷町	7	4	11	2	0	13	1	2	3	14	2	0	16
大衡村	5	0	5	1	0	6	4	1	5	10	1	0	11
色麻町	1	0	1	1	0	2	3	0	3	4	1	0	5
加美町	5	0	5	8	0	13	16	3	19	24	8	0	32
涌谷町	7	1	8	7	0	15	8	2	10	18	7	0	25
美里町	6	0	6	5	0	11	26	0	26	32	5	0	37
女川町	0	0	0	3	0	3	2	2	4	4	3	0	7
南三陸町	0	2	2	4	0	6	6	0	6	8	4	0	12
県外	9	0	9	0	0	9	1	3	4	13	0	0	13
合計	571	135	706	330	0	1,036	427	117	544	1,250	330	0	1,580

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴型装具	体幹装具	上肢装具	義 眼	眼 鏡	補 聴 器	電 動 車 椅 子	車椅子			歩 行 器	座 位 保 持 装 置	意 思 伝 達 装 置	そ の 他	計
			長 下 肢 装 具	短 下 肢 装 具	膝 装 具	そ の 他								自 走 式	介 助 用	そ の 他					
R1	16	80	18	329	14	53	48	2	6	0	0	347	28	109	61	4	2	25	24	8	1,174
R2	11	58	9	298	21	34	29	1	8	0	0	338	36	80	26	3	0	18	8	8	986
R3	8	55	8	277	4	28	19	2	4	0	0	293	23	78	27	15	0	19	12	12	884
R4	22	73	8	314	12	22	27	3	5	0	0	299	34	95	34	5	3	23	13	3	995
R5	14	63	11	338	10	43	25	3	12	0	0	330	30	113	60	8	6	26	12	5	1,109

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判定件数	判定結果	
			適	否
歩行器	メイウオーク	1	1	0
車椅子	電動リフト式普通型	1	1	0
電動車椅子	電動リフト・ティルト式普通型	1	1	0
計		3	3	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判定 件数	手帳 あり	手帳 なし	病 名	件数	補装具種目	件数
58	43	3	筋ジストロフィー	14	下肢装具	17
			筋萎縮性側索硬化症	9	車椅子	16
			脊髄小脳変性症	6	意思伝達装置	12
			シャルコー・マリー・トウス病	5	電動車椅子	8
			慢性炎症性脱髄性多発神経炎	4	下腿義足	2
			関節リウマチ	3	歩行器	2
			その他	17	上肢装具(BFO)	1

※補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

① 判定の実施状況（市町村別・障害別）

（単位：件）

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
	石巻市	127	0	0	1	13	4	5	0	0		150	丸森町	8	0	0	0	2	8	0	0
塩竈市	24	2	0	0	4	3	0	0	0	33	亙理町	25	0	0	0	1	11	4	0	0	41
気仙沼市	46	0	0	1	1	7	0	1	0	56	山元町	4	0	0	0	1	3	0	0	0	8
白石市	11	0	0	1	3	8	0	0	0	23	松島町	27	1	0	0	0	1	0	0	0	29
名取市	57	0	0	2	4	25	2	0	0	90	七ヶ浜町	10	1	0	0	1	0	0	0	0	12
角田市	16	0	0	0	1	8	0	0	0	25	利府町	11	0	0	0	4	2	0	0	0	17
多賀城市	22	4	1	1	1	1	6	0	0	36	大和町	7	0	0	0	0	1	0	0	0	8
岩沼市	8	0	0	1	4	17	9	0	0	39	大郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登米市	62	2	0	0	0	8	2	0	0	74	大衡村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栗原市	67	1	0	2	1	16	0	0	0	87	色麻町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
東松島市	40	0	0	0	5	3	0	0	0	48	加美町	6	0	0	0	1	0	0	0	0	7
大崎市	105	0	0	3	6	8	0	0	0	122	涌谷町	12	0	0	0	1	0	0	0	0	13
富谷市	26	0	0	2	1	2	0	0	0	31	美里町	19	1	0	1	1	3	0	0	0	25
蔵王町	5	0	0	0	0	4	0	0	0	9	女川町	15	0	0	0	0	2	0	0	0	17
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	南三陸町	2	0	0	0	0	1	0	0	0	3
大河原町	13	0	0	1	0	4	0	0	0	18											
村田町	7	1	0	0	2	2	0	0	0	12											
柴田町	11	0	0	1	4	4	0	0	0	20											
川崎町	5	0	0	0	1	3	0	0	0	9	計	803	13	1	17	63	160	28	1	0	1,086

② 医療機関指定等処理状況

（単位：件）

	病院・診療所	薬局	訪問看護
新規	0	17	1
廃止	0	11	0
辞退	0	0	0
変更	4	119	1
更新	3	25	0
満了	0	0	0
計	7	172	2

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者、又は在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員との協力のもとに実施しました。

② 補装具適正化事業

補装具判定業務に関しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会（1回）及び所内の職員で構成する補装具判定検討委員会（定例5回、臨時3回）を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱いなどについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

ロ 補装具判定審査会

年月日	内 容
R6. 2. 15	(1) 令和5年度 特例補装具・特例付属品の判定状況 (2) 脳卒中経験者に対する短下肢装具の初回補装具判定の状況 (3) ・立脚期電子制御膝継手の適応と考えられた大腿切断の一例 ・適合に難渋した短下肢装具の一例 ・電動車椅子（クイッキーQ50Rカーボン）を適応とした一例

ハ 補装具判定検討委員会（定例）

年月日	内 容
R5. 5. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・補装具関連業務の今年度の体制について ・補装具判定審査会外部委員について ・補装具に関する厚生労働省科学研究について ・補装具判定内規・補装具費支給取扱要領について
R5. 7. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の補装具フォローアップ事業について ・標準靴へのループ取付け加工の取り扱いについて ・車椅子・電動車椅子処方箋の送付について ・骨格構造義足の修理について ・標準靴の2足支給について
R5. 10. 19	<p>（書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働科学研究「補装具フォローアップ」の進捗状況について ・補装具判定審査会について
R5. 12. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・電動車椅子簡易型電動ユニットの取り扱いについて ・フォローアップ事業の方針確認について
R6. 2. 22	<p>（書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度補装具相談日程について

二 補装具判定検討委員会（臨時）

年月日	内 容
R5. 7. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子（特例補装具）の支給について
R6. 1. 19	<ul style="list-style-type: none"> ・重度障害者用意思伝達装置の呼び鈴と入力装置に加えて呼び鈴分岐装置の支給の可否について
R6. 2. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・重度障害者用意思伝達装置における、施設で使用するための呼び鈴（送信機のみ）の支給について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対し、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

令和5年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った95回のうち、7回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなげました。

④ 身体障害者福祉担当職員等研修会

研修名	実施年月日	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
身体障害者福祉担当新任職員研修会	R5. 4. 21	当所	市町村身体障害者福祉担当職員（仙台市を除く）	44名	「身体障害者手帳について」 「自立支援医療（更生医療）について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定について」 その他

3 知的障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の18歳以上の知的障害者に対する判定やこれに付随する相談支援を行うとともに、児童(18歳未満)及び18歳以上の方に対して療育手帳の交付を行いました。

加えて、18歳以上の知的障害者及び保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しました。

また、市町村等の職員を対象とした研修会や支援困難ケースに対する後方支援を行いました。

(1) 療育手帳交付に係る事務処理状況

① 県内の療育手帳所持者数の推移(仙台市を除く。)

県内の療育手帳所持者数の推移は下表のとおりです。令和5年度末現在の療育手帳所持者(仙台市を除く。)は、12,913名です。

(単位：人)

年度	計	A(重度)			B(中軽度)		
		児童	18歳以上	計	児童	18歳以上	計
R 1	12,027	611	3,956	4,567	2,017	5,443	7,460
R 2	12,310	601	3,997	4,598	2,081	5,631	7,712
R 3	12,600	625	4,036	4,661	2,131	5,808	7,939
R 4	12,602	649	3,928	4,577	2,137	5,888	8,025
R 5	12,913	987	3,632	4,619	2,816	5,478	8,294

② 療育手帳交付事務処理状況

令和5年度の療育手帳交付に係る申請事務の処理状況は下表のとおりです。ここでは、年度内に事務処理を完了させたものについて計上しています。令和5年度は525件の手帳交付を行いました。

「療育手帳交付」及び「交付申請却下」には、新規申請と転入による申請が含まれています。「記載事項変更」は、転居や婚姻等による住所や姓の変更及び保護者の高齢化や死亡による保護者の変更等です。「再交付」は紛失や破損等によるものです。「返還」は、他の自治体への転出や死亡、再判定の結果、非該当となったこと等によるものです。

(単位：件)

区分	療育手帳交付	交付申請却下	記載事項変更	再交付	返還
児童	455	93	152	34	42
18歳以上	70	0	504	186	168
計	525	93	656	220	210

(2) 相談判定の実施状況

療育手帳相談の内訳は、療育手帳交付申請のための相談が 69 件 (6.8%) で、療育手帳交付後の障害程度確認のための再判定に係る相談が 949 件 (93.2%) となっています。

以下は、相談判定の実施状況を示したものです。判定は所内もしくは巡回による面接により実施するものと、書面により実施するものがあります。令和 5 年度は 95 件 (56 回) の面接判定を実施しました。また、923 件の書類判定を実施しました。

① 判定実施状況

(単位：回, 件)

		回 数	件 数
面接判定	来所相談	21	37
	巡回相談	35	58
書類判定		-	923
計		56	1,018

② 巡回相談実施状況

(単位：回, 件)

広域圏	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	その他	計
相談会場 (保健福祉 事務所)	県仙南	県大崎	県栗原	県登米・ 登米市 南方庁舎	県石巻・ 東松島市 役所	県 気仙沼	自宅・ 施設等	
回 数	2	11	3	5	10	4	0	35
件 数	3	22	4	8	16	5	0	58

③ 知的障害者相談の地域別状況

(単位：件)

相談内容別 市町村 (広域圏)		療育手帳		合計	交付申請に係る 判定の結果			
		交付 申請	再判定		A	B	非該当	
仙南	白石市	2	27	29	154	0	2	0
	角田市	2	21	23		1	1	0
	蔵王町	0	13	13		0	0	0
	七ヶ宿町	0	3	3		0	0	0
	大河原町	0	19	19		0	0	0
	村田町	3	12	15		1	2	0
	柴田町	4	29	33		1	3	0
	川崎町	0	5	5		0	0	0
	丸森町	1	13	14		0	1	0
仙台	塩竈市	3	62	65	335	1	2	0
	名取市	7	32	39		0	7	0
	多賀城市	5	57	62		0	5	0
	岩沼市	5	26	31		1	4	0
	富谷市	1	14	15		0	1	0
	亘理町	0	18	18		0	0	0
	山元町	2	10	12		0	2	0
	松島町	0	15	15		0	0	0
	七ヶ浜町	0	18	18		0	0	0
	利府町	2	25	27		0	2	0
	大和町	1	26	27		1	0	0
	大郷町	0	3	3		0	0	0
大衡村	0	3	3	0	0	0		
大崎	大崎市	3	98	101	149	1	2	0
	色麻町	0	1	1		0	0	0
	加美町	0	12	12		0	0	0
	涌谷町	2	16	18		0	2	0
	美里町	1	16	17		0	1	0
栗原	栗原市	9	57	66	66	1	8	0
登米	登米市	6	68	74	74	0	6	0
石巻	石巻市	6	118	124	167	0	6	0
	東松島市	2	31	33		0	2	0
	女川町	0	10	10		0	0	0
気山沼 本吉	気仙沼市	2	65	67	73	1	1	0
	南三陸町	0	6	6		0	0	0
合計		69	949	1,018		9	60	0

④ 判定結果

(単位：件)

区 分		交付申請	再判定	計
A	最重度	2	22	24
	重 度	6	45	51
B	中 度	24	403	427
	軽 度	37	479	516
非該当		0	0	0
計		69	949	1,018

⑤ 療育手帳所持者の年齢別状況

(単位：人、%)

区分	18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計	割合
男	49	215	140	95	85	31	615	60.4%
女	22	126	86	89	53	27	403	39.6%
計	71	341	226	184	138	58	1,018	
割合	7.0%	33.5%	22.2%	18.1%	13.6%	5.7%		

⑥ 療育手帳所持者の合併障害状況

(単位：人)

年 度		R1	R2	R3	R4	R5
全 体		1,033	1,055	1,022	1,044	1,018
精神障害	てんかん	158	157	128	158	143
	統合失調症	47	65	63	54	39
	そううつ病	19	7	12	20	27
	心因反応	5	4	3	5	4
	そ の 他	138	243	252	248	238
	発 達 障 害	-	-	204	209	194
	計	367	476	458	485	451
身体障害	肢体不自由	76	86	62	66	70
	視 覚 障 害	3	14	11	11	13
	聴 覚 障 害	9	11	7	7	7
	音声・言語障害	4	1	3	0	3
	内 部 障 害	7	14	17	17	13
	計	99	126	100	101	106
合併障害なし		651	730	527	559	541

※ 複数の障害がある場合はそれぞれに計上。「その他」のうち、「発達障害」を再掲。

⑦ 療育手帳判定件数及び証明書等発行件数の年度別推移

18歳以上の知的障害者及び保護者からの依頼により、判定結果を記載した証明書を発行しています。また、18歳以上の知的障害者及び保護者の同意に基づき、他機関への判定に係る情報提供を実施しています。令和5年度は合わせて169件の依頼がありました。

(単位：件)

年 度	療育手帳判定	証明書等発行
R 1	1,033	265
R 2	1,054	238
R 3	1,022	239
R 4	1,044	226
R 5	1,018	169

(3) 知的障害者福祉担当職員研修会の開催

研修名	実施年月日	会場	対象者	参加者数	研修内容
知的障害者福祉担当 新任職員 研修会	R5. 5. 17	総合教育 センター	知的障害者 に関する福 祉行政を担 当する市町 村職員及び 児童相談所 職員等の新 任職員	52名	(1)療育手帳制度の概要 (2)知的障害の定義と判定基準 (3)18歳以上の方における相談 判定事務について (4)18歳未満の児童における療 育手帳相談判定事務について (5)療育手帳交付事務について
知的障害者 福祉担当 現任職員 研修会	R5. 10. 27	オンライ ン	知的障害者福 祉行政担当の 市町村職員、 障害福祉サー ビス事業所職 員、障害者就 業・生活支援 センター職 員、県保健福 祉事務所職員 及び県児童相 談所職員等	51名	○講 話 「触法行為をした知的障害者へ の支援について ～矯正施設から地域生活への 移行期支援～」 ○講 師 宮城県地域生活定着支援セン ター（NPO 法人ワンファミリ ー仙台） 相談員 佐藤 岳彦 氏 ○内 容 触法行為から地域生活定着 支援センター利用までの流 れ、地域生活定着支援センタ ーの概要、実際の知的障害者 の支援について事例を交えて お話いただいた。

(4) 地域生活支援の推進

市町村等から相談を受け、支援が困難なケースに対する支援方法についてともに検討を行っています。令和5年度は改めて会議形式は取らなかったものの、市町村から対応困難事例に対する電話等での相談があり、助言指導を行いました。また、療育手帳判定の対象者の中にも困難ケースがあり、判定後に市町村等の職員を交えた判定会議を開催し、支援方法について検討を行いました。

4 診療部門における リハビリテーション事業

(1) 障害者医療相談事業（障害者クリニック）

(2) 外来利用者のリハビリテーション医療

診療所では、リハビリテーション科・整形外科・脳神経外科を設置し、受診を希望する方からの予約や医療機関からの紹介を受け、各種相談やボツリヌス療法及び障害年金申請用診断書等の作成や理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。施設基準は、障害児（者）リハビリテーション料、脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ）、運動器等リハビリテーション料（Ⅱ）を取り、疾患別リハビリテーションを行っています。

現在のリハビリテーション利用者は、専門医の判断でリハビリテーションの継続が有効であると判断された方です。具体的には、今後もリハビリテーションの介入により機能改善や能力の向上が期待される方、成人の脳性麻痺の方や、若年および壮年期の脳血管障害等で就労や職場復帰を目標としている方などです。

①令和5年度外来診療状況（延べ人数）

（単位：件）

月 区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		初診及び再診	89	101	93	92	93	95	110	102	101	90	94	119
主な延べ内訳	理学療法	37	45	44	39	44	39	49	48	48	41	41	46	521
	作業療法	14	13	10	11	11	10	11	9	7	9	4	15	124
	言語療法	5	4	5	4	6	3	5	3	5	5	3	4	52
	年金・手帳の診断書	7	3	8	3	3	5	3	6	6	6	6	6	62
	ボツリヌス療法	8	5	8	13	4	6	8	8	10	12	5	9	96
	検査(知能・認知・神経)	0	0	3	0	0	0	1	0	1	2	1	1	9
令和4年度 初診及び再診		114	122	118	114	106	109	110	97	99	98	107	110	1,304

②リハビリテーション実施患者の状況（実79人）

1) 疾患別

疾患名	件数	割合
脳血管疾患	4	5.1%
脳外傷等	5	6.3%
脊髄損傷、その他脊髄疾患（二分脊椎等）	1	1.3%
関節リウマチ、その他の骨関節疾患（外傷を含む）	0	0%
神経及び筋疾患	4	5.1%
脳性麻痺、その他小児疾患	61	77.2%
切断	1	1.3%
呼吸器・循環器疾患	0	0%
その他（悪性腫瘍、熱傷等）	3	3.7%
ポリオ	0	0%
計	79	

2) 年齢構成

年代	人数	割合
10代	1	1.3%
20代	25	31.6%
30代	32	40.5%
40代	12	15.1%
50代	7	8.9%
60代	1	1.3%
70代	1	1.3%
80代	0	0%
合計	79	

3) 居住地

圏域	人数	割合
仙南	9	11.4%
仙台	25	31.7%
大崎	2	2.5%
栗原	2	2.5%
登米	1	1.3%
石巻	5	6.3%
気仙沼	1	1.3%
仙台市	34	43.0%
合計	79	

(3) 障害者検診事業

平成 25 年度からポリオ等による肢体不自由の方を対象に、身体機能やADLの低下を早期に発見し、二次障害の予防、機能の維持・改善、症状緩和を目的に、身体状況の評価等の検診を始めました。受検された方の満足度が高く、平成 26 年度から身体障害者手帳（肢体不自由）を所持している 18 歳以上の方等に対象を拡大しました。

また、センター会場の他、遠方に住んでいるためセンターにおいて受検するのが困難な障害者が、移動負担の少ない近場での受検ができるように、平成 30 年度から試行的に 6 圏域（気仙沼、登米、石巻、栗原、大崎、仙南）での巡回検診に取り組み、令和 2 年度から定例で実施しました。

事業の周知が十分になされてきていることから、定員に対する受検者数から巡回検診の回数・場所を整理し、令和 5 年度からは、センター会場のほか、巡回は年 2 会場とし、東と西エリア内で毎年圏域を変えて実施することとしました（新規 9 名、継続 10 名）。

① 実施場所および受検人数

圏域	会場名	所在地	実施日	受検者数
仙台	リハビリテーション支援センター	名取市	7月12日、8月23日 9月13日、10月18日 11月22日	14
大崎	大崎合同庁舎	大崎市	10月11日	4
石巻	石巻合同庁舎	石巻市	11月10日	1
合計			7	19

② 検診内容

項目	内容	備考
問診等	問診票、FAI自己評価表（IADLの評価表）、SF-36（QOLの評価表）の記入	問診票、IADL（手段的日常生活活動：家事、金銭管理、趣味等）、QOL（生活の質）に関する質問に対して、自身で記入する。（書字が困難な場合は介助者でも可）
測定	身長・体重・血圧・握力・肺活量	
計測	四肢周径・四肢長	仰向けで左右の手足の長さ・太さを計測する。
評価	FIM：日常生活動作の評価	セルフケア・排泄・移乗・移動に関して、本人（家族）に聞き取り、評価する。
	MMT：筋力の評価	評価者の指示に沿って体を動かし、筋力を評価する。

項目	内容	備考
評価	ROM：関節可動域の評価	評価者が手足等を動かして、関節の動く範囲を計測する。
	10m歩行速度：歩行能力の評価	歩行が可能な方については、歩く速さを計測する。
医療相談	リハビリテーション科医師による医療相談を実施する。	医師が結果を伝え、個々の相談に応じる。必要な場合には医療機関への受診の提案、利用可能な制度の情報提供、補装具・動作の工夫に関する助言等を行う。
生活指導	医療相談で必要と判断された場合に専門職が実施する。	
保健指導		

③ 年齢構成

項目	人数	割合
18～29歳	2	10.5%
30～39歳	0	0%
40～49歳	0	0%
50～59歳	3	15.8%
60～69歳	8	42.1%
70～79歳	5	26.3%
80歳以上	1	5.3%
計	19	
平均年齢	61.8歳	-

④ 男女構成

項目	人数	割合
男性	9	47.4%
女性	10	52.6%
計	19	

⑤ 身体障害者手帳の所有状況

項目	人数	割合
1級	1	5.3%
2級	3	15.8%
3級	2	10.5%
4級	10	52.6%
5級	3	15.8%
6級	0	0.0%
7級	0	0.0%
無	0	0.0%
合計	19	

⑥ 主傷病

項目	人数	割合
ポリオ	3	15.8%
骨・関節疾患	7	36.8%
脳血管疾患(頭部外傷含む)	3	15.8%
脳性麻痺	3	15.8%
神経・筋疾患	0	0.0%
脊髄疾患	1	5.3%
呼吸器・循環器疾患	0	0%
その他	2	10.5%
計	19	

⑦ 自覚症状

(複数回答あり)

項目	計	割合
歩行障害	9	12.9%
筋力低下	7	10.0%
痛み	10	14.3%
身体の変形	4	5.7%
疲労感	6	8.6%
つっぱり	4	5.7%
しびれ	6	8.6%
筋肉が痩せた	7	10.0%
冷感	2	2.9%
息切れ	2	2.9%
飲み込みにくさ	3	4.3%
その他	10	14.3%

⑧ 医療相談における医師からの助言内容

(複数回答あり)

項目	件数	割合
経過観察	8	25.0%
補装具助言	8	25.0%
他院受診の提案	8	25.0%
運動指導	6	18.8%
当院受診の提案	0	0.0%
その他	2	6.3%

5 高次脳機能障害者支援事業

高次脳機能障害者支援事業は当センター支援コーディネーター（作業療法士2名）を中心に相談事業や研修事業を行いました。

(1) 相談事業

① 相談

相談形態	実人数	延人数	相談者（延）		居住地（延）		
			本 家 族	支援者等	県内	仙台市	他・不明
電話相談	31	51	26	25	20	15	16
来所相談	3	3	2	1	2	1	0
家族相談	0	0	0	0	0	0	0
メール相談	2	2	0	2	0	1	1
計	36	56	28	28	22	17	17

相談内容内訳

内 容	件数 (延)	内 容	件数 (延)
障害に関すること	9	就労・復職	2
診断・評価	0	日常生活	2
診断書作成	2	就学・復学	0
リハビリ	6	家族交流会	6
相談機関	7	連携パス	0
サービス・支援資源	10	その他	34
制度	4	計	82

相談の内容は、単独ではなく高次脳機能障害に関することから日常生活や就労に関すること等多岐に渡るため、相談件数と相談内容の数は一致しません。

② 家族学習会

開催日	内 容	対象	参加数
R5. 8. 25	第1回 「高次脳機能障害基礎 症状と対応について」 講師：東北医科薬科大学病院リハビリテーション部言語心理部門 言語聴覚士・公認心理士・高次脳機能障害支援コーディネーター 目黒祐子 氏	当事者の家族 及び その支援者等	5人
R5. 10. 6	第2回 「高次脳機能障害の方が利用できる福祉制度や社会資源について」 講師：東北医科薬科大学病院患者支援・医療連携センター 高次脳機能障害支援コーディネーター・社会福祉士 大野美和子 氏		11人
R5. 12. 8	第3回 「高次脳機能障害のある方の生活支援について」 講師：指定特定相談支援事業所「相談支援ころんぶす」支援専門員 鈴木久美子 氏		5人

(2) 研修事業

①広域研修

開催日・会場	内 容	対象	参加数
R5. 7. 21 当所 オンライン (ライブ配信)	講演「高次脳機能障害とは～名もなき苦しみの理解と支援～」 講師 東北大学大学院医学系研究科 高次脳機能障害学教授 鈴木匡子 氏	当事者・家族・ 支援者	141人

②基礎研修

開催日・会場	内 容	対象	参加数
R6. 3. 7 県子ども総合 センター オンライン (ライブ配信)	講演 「高次脳機能障害のある方の生活支援について」 講師 就労準備支援センターあぼかぼ 作業療法士 今野 翔平 氏	支援者・当事者	89人

(3) 担当職員養成事業

関連する会議・研修等への参加（オンライン研修の受講）

開催日	内 容
R5. 6. 28	第1回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会 第1回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議
R5. 10. 7	宮城県高次脳機能障害リハビリテーション講習会
R5. 11. 18	宮城県高次脳機能障害者支援事業 第1回専門研修会
R5. 12	高次脳機能障害者支援事業担当者東北ブロック会議（書面開催）
R6. 1. 6	宮城県高次脳機能障害者支援事業 第2回専門研修会
R6. 2. 16	第2回高次脳機能障害支援普及事業全国連絡協議会 第2回高次脳機能障害者支援コーディネーター全国会議
R6. 3. 5	令和5年度宮城県高次脳機能障害研修事業（圏域研修）

(4) 支援体制の整備

① 保健福祉事務所等への支援

主 催	開催日	内 容	支援内容
県北部福祉事務所栗原地域事務所	R5. 6. 7	栗原市自立支援協議会	研修講師
県仙南保健福祉事務所	R5. 12. 7	令和5年度第2回高次脳機能障害者家族交流会	出席

② 検討会（ネットワーク会議）を主催

開催日・会場	内 容
R6. 2. 2 県子ども総合センター オンライン	<p>参集：支援拠点病院、地域支援拠点病院、保健福祉事務所、仙台市、障害福祉課等 14 機関 26 人</p> <p>内容：</p> <p>(1) 講演 「高次脳機能障害者支援の現状」 講師 国立障害者リハビリテーションセンター 顧問 深津 玲子 氏</p> <p>(2) 高次脳機能障害支援機関における現状の共有 拠点病院、地域支援拠点病院、仙台市拠点機関、県機関等</p> <p>(3) 報告・情報交換 医療機関調査の結果について</p>

③ 事業周知

実施日	内 容	対象	周知件数
R5. 6. 22	障害福祉課主催「障害福祉サービス事業者集団指導」における当該事業周知（資料提供）	市町障害福祉サービス事業者	571
R6. 3. 21			
R5. 4. 21	身体障害者支援班主催「市町村身体障害者福祉担当新任職員研修会」における当該事業説明	市町村身体障害者福祉担当職員	44
随時	ホームページ掲載、更新		

④ 「高次脳機能障害医療提供調査」への協力

県精神保健推進室に協力し、宮城県内の病院 125 ヶ所、診療所 634 ヶ所（*）に対し高次脳機能障害の診断及びリハビリテーション等に係る調査を行い、39 ヶ所が対応可能である現状を把握しました。

調査結果は関係機関へ周知するとともに、ホームページにも掲載しています（*：医療機関数は、標榜している診療科目により抽出しています）。

6 その他

(1) 令和5年度学会発表・研修会講師等一覧

年月日	学会・研修会等名称	演 題	開催地	演者
R5. 5. 20	令和5年度感染症対策委員会研修会	リハビリテーション支援センターの新型コロナウイルス感染症対策	名取市	西嶋一智
R5. 7. 2	第60回日本リハビリテーション医学会学術集会	生活期のミカタ ～福祉制度の活用～	福岡県福岡市博多区	西嶋一智
R5. 7. 5	令和5年度福祉機器専門職員研修会	身体障害者更生相談所概論	埼玉県所沢市	西嶋一智
R5. 7. 15	第29回日本義肢装具士協会学術大会	福祉行政が持つデータから見た下肢切断者の現状	仙台市青葉区	西嶋一智
R5. 11. 5	第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会	障害者総合支援法による下肢切断者の義足支給動向	宮崎県宮崎市	西嶋一智
R5. 12. 18	第1回身体障害者更生相談所職員向け講習会	特例補装具・判定困難事例の判定の考え方ー基本的な考え方ー	名取市 (録画)	西嶋一智
R6. 1. 25	みやぎ脳卒中地域連携パス会議	生活期のフォローアップ	名取市 (Web参加)	西嶋一智

(2) 論文・原稿掲載等一覧

著 者	論文名	掲載雑誌等
西嶋一智	西嶋一智：生活期のミカタ ～福祉制度の活用～	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol. 60. Supplement 号, S423, 2023

著者	論文名	掲載雑誌等
西嶋一智	西嶋一智：障害者総合支援法による 下肢切断者の義足支給動向	The Japan Journal of Rehabilitation Medicine vol. 60. Autumn号, S277, 2023
	西嶋一智：医療福祉制度	日本医師会雑誌, 第152巻, 特別号(2), S286- S291, 2023
	西嶋一智：切断者の疫学データから みる更生用義足の支給状況	総合リハビリテーション, 第51巻, 10号, 1069- 1076, 2023
	西嶋一智ら：モニター評価を实践す る人材の育成プログラム開発 ～モ ニター評価に必要な能力評価（スキ ルチェック）シートの作成～	障害者の支援機器開発におけるモニター評価手法の 開発及びモニター評価を实践する人材の育成プログ ラム開発のための研究(21GC1001) 令和4年度総 括・分担研究報告書. 40-43, 2023
	浅川育世、西嶋一智ら：支援機器の 選定・導入運用ガイドラインの作成	リハビリテーション関連職等が支援機器の適切な選 定・導入運用時に用いるガイドラインの開発 (21GC2003) 令和4年度総括・分担研究報告書. 6- 55, 2023
	硯川潤、西嶋一智ら：ガイドライン 利用モデルの構築及び課題抽出	リハビリテーション関連職等が支援機器の適切な選 定・導入運用時に用いるガイドラインの開発 (21GC2003) 令和4年度総括・分担研究報告書. 65- 69, 2023
	八木雅和、西嶋一智ら：デザイン思 考に基づく支援機器開発ガイドラ イン	真のニーズに基づく支援機器の開発・事業化を実現 するための出口・普及を想定した支援ネットワー クモデル構築のための研究(22GC1008) 令和4年度総 括・分担研究報告書. 5-16, 2023
	檜本修、西嶋一智ら： 宮城県の補装具フォローアップ事 業の検証	補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の 有効性検証のための研究(22GC1010) 令和4年度総 括・分担研究報告書. 35-41, 2023

(3) 研究活動・その他

氏名	内容
西嶋一智	東北大学医学部医学科・保健学科 学部非常勤講師
	東北文化学園大学 非常勤講師

氏名	内 容
西嶋一智	日本リハビリテーション医学会 代議員 障がい者福祉委員会 委員長 身体障害者診断書・意見書の書き方作成委員会 委員 専門医委員会 委員 切断義肢SIG コアメンバー 痙縮治療SIG コアメンバー 東北地方会 幹事
	日本義肢装具学会 認定制度委員会 委員 義肢装具等支給制度対策委員会 委員
	全国身体障害者更生相談所長協議会 補装具判定専門委員会 副委員長
	全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会 理事
	東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事
	厚生労働科学研究 「補装具費支給制度等におけるフォローアップ体制の有効性検証のための研究」 (22GC1010) 研究協力者 「真のニーズに基づく支援機器の開発・事業化を実現するための出口・普及を想定した支援ネットワークモデル構築のための研究」(22GC0801) 研究分担者 「技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究」(23GC2004) 研究分担者

(4) 養成施設校講義等（看護職・リハビリテーション専門職）

年月日	学校名	内容	備考
R5. 11. 13	東北大学 医学部保健学科看護学専攻	リハビリテーション学 「脳卒中と後遺症 -リハビリテーションにおける「医学」-」	2年生 70名
R5. 12. 1 R5. 12. 8	東北文化学園大学 医療福祉学部リハビリテーション学科理学療法学専攻	義肢装具学 ①「切断術と断端管理」 「補装具の支給体系」 ②「切断の医学的リハビリテーション」	2年生 80名

(5) 養成施設校実習指導等（看護職・リハビリテーション専門職）

年月日	学校名	内容	備考
R5. 6. 23 R5. 7. 14	東北福祉大学 健康科学部保健看護学科	リハビリテーション支援センター の概要と業務に関すること	4年生 5名
R5. 10. 10～10. 11 R6. 2. 13～2. 14 2. 27～2. 28	宮城大学 看護学群		3年生 実13名 延26名
R5. 12. 18	東北保健医療専門学校 作業療法学科		3年生 16名
R6. 2. 21	東北保健医療専門学校 理学療法学科		1年生 66名